

第04回 報告

日時：01月08日7時～8時

題目：上市、よもやまな山ばなし

進行役：togashi

参加者：16人（町内5人）

上市に軸足を置いて立山や剣の話をしたく
く参上され、思う存分に語られました。

まずはじめに、氏の語りから。

「なぜ山かといいますと、山は生活に深く
関わっているからです。こういうとすぐに
最近の里山資本主義の里山を含めて循環系
として山の恵みをいう方が多いですが、私
は山に寄せるロマンに迫りたいと思ってい
ます。海彦・山彦の時代から山は現風景・原
風景の源であ

りますし、人間の感性を磨いてもしてくれ
ています。」

このように語られて氏から立山や剣の写
真をお見せいただくと、我らの山への思い
を掻き立てるかのように山への愛着と身近
さを今以上に感じました。確かに、氏が言う
ように「山に登るもよし、山を見るもよし」
といった感覚ですね。

また、理屈を多少入れた語りとして「人生
を山に例えて山を乗越えるもよし。立山を
登って一人前もよし。そんな山とのコミュ
ニケーションを通して、山を大いに楽しみ、
大いにロマンを語り合いたい」という心境
も沸いてくるものなのでしょう。

そんな前置きのもとで、いかのように具
体的な話となりました。

- ・富山は山と海の国、上市は山
- ・皆さんの山への思い
- ・なぜ山に登る。最近シルバーが。
- ・でも山ありき、身近に、

- ・山の世界、気質、フランクな人、
美味、ロマン
- ・少し山の歴史を
- ・観光やスポーツへ

皆さんは、山の魅力を満喫されていたこ
とでしょう。進行役と皆さん、ありがとうご
ざいました。

■■ 参考：開催案内文

第4回目の朝活、進行役をつとめます。上市に軸
足を置いて立山や剣の話をしたく存じます。

なぜ山かといいますと、山は生活に深く関わ
っているからです。そういうと、すぐに最近の里山資
本主義の里山を含めて循環系として山の恵みの話
になりますが、私は山に寄せるロマンに迫りたい
と思っています。海彦・山彦の時代から山は現風
景・原風景の源でありますし、人間の感性を磨いて
もくれています。

山に登るもよし、山を見るもよし。また人生を山
に例えて山を乗越えるもよし。立山を登って一人
前もよし。そんな山とのコミュニケーションを通
して、我ら、大いに楽しみ、大いにロマンを語り合
いたいものです。

当日は、脱線・底抜けで四方山風に行きますので、
よろしくおねがいたします。

話の項目は次の通りチョット盛り沢山です。

- ・富山は山と海の国、上市は山
- ・皆さんの山への思い
- ・なぜ山に登る。最近シルバーが。
- ・でも山ありき、身近に、
- ・山の世界、美味、フランクな人、ロマン
- ・少し山の歴史を
- ・観光やスポーツへ

